

大宮東中学校

1 研究主題

「確かな学力をつけさせるための授業改善の研究」 ～五感に訴えるICTの効果的な活用～

2 主題設定の理由

本校では、平成27・28年度の2年間、さいたま市教育委員会より研究委嘱を受け、「確かな学力をつけさせるための授業改善の研究 ～五感に訴えるICTの効果的な活用～」を研究主題とし、授業実践を中心に研究を進めてきた。

本研究では、各教科における基礎的・基本的な知識の理解や技能の習得、思考力・判断力・表現力や態度形成等のねらいを、より明確に達成するための手立てとしてICTを活用し、五感、特に視覚と聴覚に対し効果的にはたらきかけ、到達すべき目標に迫る授業について、具体的な展開を通して研究することを目的としている。

また、本校では、学習目標への到達をより円滑に推進する授業実践の手段として、ICTを活用することで、学習目標への到達、及び目指す生徒像の具現化を図る手立てとして、「確かな学力をつけさせるための授業改善の研究～五感に訴えるICTの効果的な活用～」を主題として、授業実践を中心とした研究を進めてきた。

3 研究の視点

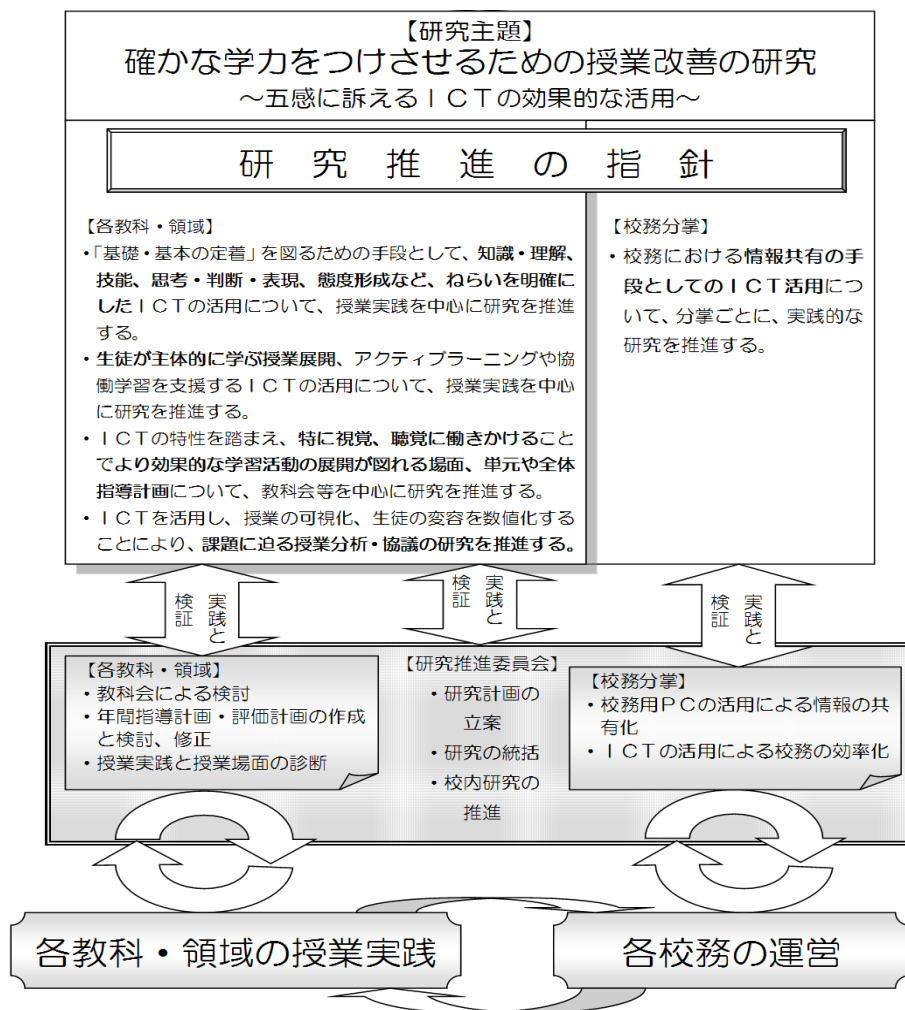
(1) 各教科、領域

- ・「基礎・基本の定着」を図るための手段として、知識・理解、技能、思考・判断・表現、態度形成など、ねらいを明確にしたICTの活用について、授業実践を中心に研究を推進する。
- ・生徒が主体的に学ぶ授業展開、アクティブラーニングや協働学習を支援するICTの活用について、授業実践を中心に研究を推進する。
- ・ICTの特性を踏まえ、特に視覚、聴覚に働きかけることでより効果的な学習活動の展開が図れる場面、単元や全体指導計画について、教科会等を中心に研究を推進する。
- ・ICTを活用し、授業の可視化、生徒の変容を数値化することにより、具体的な課題に迫る授業分析・協議の研究を推進する。

(2) 校務分掌

- ・校務における情報共有の手段としてのICT活用について、分掌ごとに、実践的な研究を推進する。

4 研究の主な取組



5 成果と課題

【成果】

- 教師による説明時間の短縮、より分かりやすい師範ができ、生徒の活動時間の担保や内容の充実につなげることができた。
- ICTの活用による効果を十分に活用し、学習目標により迫る授業展開を図ることができた。

【課題】

- まだ活用していないICT機器の機能等を用いることで、研究のねらいや授業の学習目標にさらに迫る展開が考えられる。
- ICTの効果を十分に発揮できる学習場面について、更に探求を進める。タブレットの準備等に手間や時間がかかるため、もう少し環境が整えられるとよい。